

科目名 成人看護学概論 時間割表記名 成人看護学概論		配当時期 1年次 後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 吉竹 あゆ (実務経験のある教員)
事前学習内容 成人期の特徴と発達課題について予習して臨む			
授業目標 1. 成人期にある対象とその特徴について理解できる。 2. 成人の生活が健康に及ぼす影響について理解できる。 3. 成人看護に必要な基礎的理論を理解できる。 4. 成人各期にある対象の特徴と保健の動向を通して、成人看護の役割理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ.			
回	学習内容	方法	備考
1	成人であるということ(人のライフサイクルから考える) 発達課題に関する理論;エリクソン、ハビガースト	講義	テキスト①③
2	ライフサイクルにおける成人期の特徴・発達課題①: 青年期	グループワーク 発表会	テキスト①③
3	ライフサイクルにおける成人期の特徴・発達課題②: 壮年期 ライフサイクルにおける成人期の特徴・発達課題③: 向老期		
4	成人の生活からとらえる健康	講義 グループワーク 発表会	テキスト①③ ④
5	1)成人を取り巻く環境と生活の状況		
6	2)成人の健康の状況 ①生と死の動向、②健康格差、③職業性疾病・業務上疾病 ④受療状況、⑤生活習慣病、⑥メンタルヘルスと自殺者数		
7	成人の生活と健康をまもり育むシステム	講義 グループワーク 発表会	テキスト①④
8	1)保健・医療・福祉にかかわる施策の概要 2)保健にかかわる対策 3)医療にかかわる対策 4)福祉にかかわる対策		
9	成人への看護アプローチの基本		
10	1)生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 2)健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 3)人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 4)看護におけるマネジメント 5)看護実践における倫理的判断 6)チームアプローチ 7)意志決定支援 8)家族支援		

11	ヘルスプロモーションと看護	講義	テキスト①②
12	1)ヘルスプロモーションと看護 2)ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動		
13	健康をおびやかす要因と看護	講義	テキスト①②④
14	1)健康バランスの構成要素 2)健康バランスに影響を及ぼす要因 3)生活行動がもたらす健康問題とその予防		
15	筆記試験 成人期にある人への看護の役割まとめ	筆記試験 45分 講義 45分	
<p>受講上の注意</p> <p>授業内容により、レポート課題を課す</p>			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> <p>レポート</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>① 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院</p> <p>② 松本千明著 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 医歯薬出版株式会社</p> <p>③ 舟島なをみ、望月美知代著 看護のための人間発達学 第5版 医学書院</p> <p>④ 国民衛生の動向 厚生労働統計協会</p> <p>参考文献</p> <p>①服部祥子 生涯人間発達論 一人間への深い理解と愛情を育むために― 医学書院</p> <p>②佐藤栄子 中範囲理論入門 ―事例を通してやさしく学ぶ― 日総研</p>			